



東北大学



Prudential

平成 27 年 5 月 25 日

東 北 大 学
プルデンシャル財団

《助成金交付式 開催のお知らせ》

米国プルデンシャル財団助成金 2015 年度の交付者が決定

～東北大学地域イノベーションプロデューサー塾の卒塾生に対する事業化資金の助成～

東北大学では 2012 年度から、震災復興支援プロジェクトの一つとして「地域イノベーションプロデューサー塾」を開講し、経済復興を支援するビジネスリーダーを育成してきました。

本塾の卒塾生に対する事業化資金として、昨年から 3 年間（2014 年度～2016 年度）にわたって、米国に本拠地を置く世界最大級の金融サービス機関であるプルデンシャル・ファイナンシャル・インクの社会貢献事業を担うプルデンシャル財団から、約 1 億円の支援を受けており、この度、本助成金の 2015 年度交付者が次ページのとおり決定しましたのでお知らせします。

また、下記により助成金交付式を行いますことも併せてお知らせいたします。ご取材いただける場合は、6 月 4 日（木）12 時までに添付の FAX 用紙にて、東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター（FAX 022-217-6266）までご連絡くださいますようお願いいたします。

記

2015 年度プルデンシャル財団助成金交付式

日時：平成 27 年 6 月 5 日（金） 16 時～16 時 30 分

場所：東北大学片平キャンパス

エクステンション教育研究棟 6 階 セミナー室（601）

宮城県仙台市青葉区片平 2 丁目 1-1 （別添地図参照）

【詳細】

この助成金は、震災後の救援、復興、生活再建の支援を目的としてプルデンシャル財団が行ってきた約 6 億円を超える支援の一部です。プルデンシャル財団からの支援は、「地域イノベーションプロデューサー塾」の卒塾生による革新的な事業計画に対して、2014 年 6 月から 3 年間にわたり、年間約 3000 万円、総額約 9000 万円の「事業支援金」として贈られます。「事業支援金」は、宮城、岩手、福島の前災 3 県を中心とした地域経済を牽引するような地元企業の革新的な事業活動に活用され、内発的な経済復興に貢献することが目的です。

東北大学は東日本大震災の発生直後に、復興活動の先導役として災害復興新生研究機構を設置しました。以来、同機構は 8 つの復興プロジェクトを実施しています。そのひとつである地域産業復興支援プロジェクトでは、大学院経済学研究科の地域イノベーション研究センターの主導のもと、東北地方の産業や文化の再生を支援するための研究が行われています。「地域イノベーションプロデューサー塾」も同プロジェクトの中で運営されており、経済を強くする新しい地元企業の育成を手掛けています。

2015 年度プルデンシャル財団助成金交付者

2015 年度プルデンシャル財団助成金は、一次審査（書類審査）、二次審査（外部審査委員会委員による面接審査）を経て、次の 5 社事業に対し交付を決定しました。

交付者名	会社名	所在地	事業名	事業概要	助成金額
鵜川佳子 (62)	耐南商事(株)	会津若松市	「介護美容ケア事業」に従事する「ハイジェニックビューティシャン」の早期育成事業	被災地の高齢者への“寄り添いサポート事業”としてケアをする「ハイジェニックビューティシャン」の育成を事業化し、さらに「ハイジェニックビューティシャン」をこれからの高齢者への健康促進の新しい事業として携わる職能として確立し、活躍できる場を開拓する。	500 万円
三輪 寛 (48)	(株)ワイヤードビーンズ	仙台市	職人とのモダンデザイン製品の継続的な開発と、国内外の個客と地域、職人を結ぶ I T の仕組み構築事業	日本のモノづくりの伝統と職人技を伝えていくため、モダンデザイン製品を開発し、販売する事業。また、顧客の製品への満足だけでなく人生の豊かさを感じられる I T システムを構築して製造・販売する。	500 万円
菅井伸一 (40)	(株)ヒロセ	仙台市	誰もが自分にとって快適な靴に出会えるプラットフォームの創出 ~Dr.ShoeBox~	靴の消費動向をデータベース化し、医学的なアプローチを含め、最適・快適な靴を提案するプラットフォーム（仮称：Dr.ShoeBox）を構築する	900 万円
及川啓隆 (37)	(株)クラシコ	奥州市	「可変する壁(DSIGN FREE WALL)」×映像コンテンツによる「景観融合型」 GARDEN THEATER 事業	「可変する壁（DESIGN FREE WALL）」を開発・製造し住空間でモデル利用する。また、この可変壁を活用し、3D プロジェクションマッピングにより昼夜で景観が可変する庭を創り出す	600 万円
田中穂光 (43)	(株)ガーデン二賀地	仙台市	生活空間環境の質をより良くする宅配花壇サービス事業	WEB 上で花壇デザインを決め、宅配により花壇を運び込み交換し、季節に応じた花壇を提供する事業	1,000 万円

<参考>

プルデンシャル・ファイナンシャル・インクについて

プルデンシャル・ファイナンシャル・インク（ニューヨーク証券取引所上場：ティッカーシンボル PRU）（総預かり運用資産約 1 兆 2,040 億ドル/2015 年 3 月 31 日現在）は、金融業界をリードする企業として、米国、アジア、ヨーロッパ、ラテン・アメリカの拠点で活動しています。プルデンシャルの多様かつ多才な社員は、生命保険、年金、退職関連業務、投資信託、資産運用など、幅広い商品とサービスの提供を通じて、個人および法人のお客様の資産を守り、育てるお手伝いをしています。米国において、プルデンシャルを象徴する「ロック」ロゴは、一世紀以上に渡って強さ、安定、ノウハウ、そしてイノベーションを表してきました。更に詳しい情報は、<http://www.news.prudential.com/> をご覧ください。

プルデンシャル財団について

プルデンシャル財団は、米国プルデンシャル・ファイナンシャル・インクの子会社であるプルデンシャル・インシュアランス・カンパニー・オブ・アメリカの支援を受けた非営利法人です。人々が質の高い職業に就き、資産を築き、よりよい地域社会を築いていくためのお手伝いをしております。人々がこのような生活をめざすに当たり、金銭的・社会的な障壁となっているものを取り除くために、社会の体系的な変化を提唱していきたいと考えております。また、プルデンシャル財団は戦略的投資家として長期的にコミットし、助成と投資プログラムという 2 つの分野で目に見える結果を生み出すことをめざしております。

◆プルデンシャル財団の支援の概要

	内 容
目的	地域イノベーションプロデューサー塾卒塾生が策定する革新的な事業計画資金を助成することにより、新たな雇用の創出や地域企業の事業革新のロールモデルを導出し、地域経済の活性化及び早期の震災復興の実現に資する。
助成対象者	地域イノベーションプロデューサー塾卒塾生が実施責任者となって事業を行う被災 3 県および東日本大震災で被災した会社。
助成件数・金額	・総額：3 年間に 100 万ドル（約 1 億円） ・助成件数：年間 3 ～ 5 件／助成金額：年間 3,000 万円程度 ※1 事業あたり最大 1,000 万円
選定方法	一次審査：書類審査／二次審査：外部審査委員会による審査 ※2015 年度審査委員長：守本東北経済産業局長
支援期間	2014 年度～2016 年度の 3 年間 ※東北大学が採択事業者に対して定期的にコンサルティング等の支援を行う。
成果報告等	東北大学は採択された事業の進捗状況や成果等を定期的にモニタリングし、プルデンシャル財団に報告する。

以上